

第41回 全国都市緑化かわさきフェア

みどりで、つなげる。
みんなが、つながる。

会場 | 富士見公園 | 等々力緑地 | 生田緑地

秋 令和6年10月19日(土)～11月17日(日) 春 令和7年3月22日(土)～4月13日(日)



11月8日、神奈川県川崎市で行われている「第41回全国都市緑化かわさきフェア」に会員・事務局併せて15名で視察に行っていました。

当日は、気持ちのいい秋晴れで、大変過ごしやすいい中で視察を行うことができました。

多様性×みどりをテーマにした富士見公園、体験・体感×みどりをテーマにした等々力緑地、歴史・文化×みどりをテーマにした生田緑地の3公園をコア会場として開催されています。

まず、集合場所の富士見公園では、富士見地区責任者 関根 忠和さん（川崎市造園建設業協同組合）の説明のもと、エントランス広場にある軽トラックを使用して製作したトラックガーデンや、壁面基盤型・垂直登はん型等の先駆的な壁面緑化技術を使用した垂直花壇、ハンギングバスケットや全国造園デザインコンクールなどの各種コンテスト作品を見て回りました。

垂直ガーデンの新しい技術や庭園出展コンテストで、斬新な配置や見せ方があり大変勉強になりました。

昼食後、造園フォーラムに出席の方と別行動を取り等々力緑地へ向かいました。

等々力緑地には、体感・体験×みどりのコンセプトどおり木製パレットを活用した空間演出や視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚を使って遊ぶアクティブガーデンがあり、小さい子供が楽しめるエリアとなっていました。

また、森のアートでは子供たちがカラフルなビニール傘にクレヨンを使って描いた「脱炭素」のアートをワイヤーで吊るして展示しており、太陽光にあたるとカラフルな影ができ幻想的な空間を作っていました。

その後、ウォーターガーデン前のカフェで小休止をし生田緑地に向かいました。

生田緑地には、歴史・文化×みどりをコンセプトに広大な緑地の中、巨大な樹木が覆い茂り日本民家園や



富士見公園視察 集合写真



トラックガーデン

岡本太郎美術館がありました。

西口駐車場より中央広場へ高低差のある階段を下っていくと、「藍と霧のメタセコイア」と銘打ったメタセコイアの森の中で、特殊なノズルから高圧力で噴出した大量の霧が、林間の空気のわずかな動きに応じて、揺らぎ、拡散しながら、差し込む光とともに空間を包み込んでいました。あまりに幻想的な空間で素晴らしく、何度も往復してしまいました。

矢継ぎ早に3箇所回りましたが、見どころ満載では1日では回り切れないボリュームでした。時間があればもう一度来たいと思いながら帰路に着きました。

(広報委員 海瀬大五郎)



木製パレット広場



垂直花壇



森のアート



庭園出展コンテスト 国土交通大臣賞庭園



藍と霧のメタセコイア